

雲外蒼天

No. 23

オリジナルノートを作る(弱点補充参考書兼お守り)

「オリジナルノート」とは、自分で忘れたところ、間違ったところをリストアップしてノートを作るということです。こればかりは、他人のノートを写したり、受験参考書を見たりしてもあまり意味はありません。確かに受験生が間違いやすい箇所というのはあるかもしれませんが、それ以上に自分の癖というものがあります。例えば数字とアルファベットをよく間違える、プラスとマイナスをよく間違える、といったような自分のよくやる間違いをまとめてノートを作るのです。そして一番肝心なのは、忘れていた公式や文法などを書くということです。もちろん教科毎に分けて、見出しを付けるとか、色分けするとかの工夫をしてください。そのノートは世界で1冊、自分だけのオリジナルノートで、自分の欠点や気をつけなければならない点がびっしり書いてあります。受験が近づいてくれば、そのノートが宝物ともなるし、お守りともなるのです。なぜなら、自分がどんなに頑張ったのかがそこに形として残っているわけで、どんなに評判の高い参考書も太刀打ちできないからです。

それではそれをいつやるかということです。

「方法はわかったけど、今はやる気が起きないから、もう少ししてからやるよ。」「今はクラブが忙しいから、引退してからね。」こんな話をよく聞きます。しかし、今できない人が明日できるようにはなかなかならないのです。まして、3か月後、半年後にやれるという保証はどこにもないのです。確かに一般的に言うとクラブをしている人の方が、クラブを辞めてからの伸び率は高いのです。しかし、それには条件がいろいろあります。

みなさんは、ポールポジションという言葉を知っていますか。ポールポジションとは、レースの決勝でいちばん先頭(1番グリッド)からスタートできる位置のことです。多くのモーターレースの場合、決勝レースの前に予選(タイムアタック)があります。その予選で最速タイムを出した選手が獲得するのがポールポジションです。なぜここが有利かということ、スタート直後に前に敵がいいため走りやすいし、事故や混乱に巻き込まれることが少ないので、勝率が高くなります。例えば東京マラソンは約4万人が参加します。ここで最後尾から出発すると、スタートラインを通過するまでに20分~25分かかります。なぜこんなことを書くかということ、もう予選レースは始まっているからです。だからクラブを辞めるまでに、一定の土台を作っておくことが必要だということです。つまり、今日までは脇目もふらずにクラブ一筋、明日からは勉強一筋というのではダメだということです。クラブをやりながら、基礎固めをしておけば、クラブを辞めてからクラブで培ったその集中力と体力で、クラブをしなかった人を逆転できるということです。そのことを頭に置いて、今何をするのかを考えないといけないのです。クラブでいくら疲れて帰っても、試合で疲れて帰ってもこれだけはやると決めたことをやるまで寝ない。そういう人しか、勝ち目はないのです。

「過去と他人は変えることはできない。自分と未来を変えよう。」

その思いで、日々を送ってください。